

総務常任委員会報告書

会議日時	平成 23 年 8 月 2 日 (火) 13 時 30 ～ 16 時 00			
会議場所	○議員控室 ●委員会室 ○大正総合支所 ○現 地			
出席者数	委員 7 名のうち出席者 7 名			
出席委員	委員長	橋 本 保	委員	岩 井 優之介
	副委員長	下 元 昇	委員	山 岡 義 正
	委員	林 健 三	委員	宮 地 章 一
	委員	下元 真 之		
欠席委員				
事務局		田辺 卓		
説明者	政策監	森 武士		
	環境課長	山脇一生		
傍聴者				
付議事件	1. 庁舎建設に伴う課題・調査について			
	● 庁舎建設とエネルギー政策について ●議場の問題 ●庁舎の陸橋の耐震化			
	● 木造の使用について ●分割発注について ●その他			
審査・調査	●新エネルギー問題について、町としての全体構想は現段階で進んでいない。従って庁舎のエネルギー問題とは切り離して議論すべきであり、新庁舎には太陽光発電を可能な限り設置すべきである。(全員一致)			
	●議場については、町民に開放できる施設にしたいと言ったが、こだわったものではないので議会で協議してもらいたい。(町長) 議場については、専用とし何かの時には開放できる可動式がいいし、多少の段差は必要である。(全員一致)			
	●陸橋の耐震化については、10カ所のボーリング調査を行い報告する。			
	●先の全員協議会で報告された内容は、東棟は鉄筋の木質化、西棟はRCと木造の混合である。総務としては、このことについて全員協議会で特段の異論が無かったので、この方向で進んでいると理解している。尚木材はふんだんに使用すべきである。			
	●分割発注は、東西に分け分離発注していきたいが、西棟は大きいので大手が入る。			
	●池やシンボリックな丸太を使用すべき、アスファルトの浸透式にすべき。			
反対意見	なし			
報告日	平成 23 年 8 月 2 日 (金)		委員長署名	橋 本 保 